

令和2年度事業報告

概要

昭和54年に神戸市によって設立された神戸フィルハーモニックは、神戸唯一の本格的オーケストラとして活動してまいりましたが、平成元年5月10日に一般社団法人神戸フィルハーモニック協会として行政の運営から民間団体として再出発しました。本協会は、定款にて「交響管弦楽その他の音楽の普及振興を図り、もって神戸文化の向上発展に寄与する」ことを目的として掲げ、40年の歴史を持つ交響楽団「神戸フィルハーモニック」を存続させることを当面の目標とし、これまで同様に演奏を提供するための活動を継続しております。法人化2年目となる令和2年度は神戸フィルハーモニック創立40周年にあたり、本協会の体制と活動を充実させる飛躍の年となるべく事業を計画しましたが、コロナ禍にみまわれ、神戸フィルハーモニックは活動の一時休止を余儀なくされ、法人の正常な活動が困難となりました。

令和2年度の事業の概要は以下のとおり。

- ①昨年度に開始した「創立40周年記念コンサートシリーズ」第3回となる第80回定期演奏会をゲストに日本を代表するフルーティストのひとりである高木綾子氏を迎え、11月に開催した。6月に予定していた定期演奏会はコロナ禍のために開催できなかった。
- ②恒例のニューイヤーコンサートを主催公演として開催した。
- ③小編成の依頼演奏を2件受託した。
- ④神戸市が令和元年に制定した「神戸市文化芸術団体支援事業助成」制度の「つなぐKOBEアート募金」助成団体として、ふるさと納税の使途指定寄附を原資とする助成金を受領した。
- ⑤独立行政法人日本芸術文化振興会より、第80回定期演奏会に対して芸術文化振興基金助成金の交付を得た。
- ⑥財務では、コロナ禍のために演奏会の入場者が非常に少なかったため、赤字を生じた。不足分を楽団員積立金より120万円を充当した。

I. 事業の状況

1. 定期演奏会

①第80回定期演奏会

共催: 神戸フィルハーモニック後援会、(公財)神戸市民文化振興財団、
令和2年11月21日(土) 15:00開演、神戸文化ホール 大ホール
創立40周年記念シリーズ Vol.3

「神戸フィルの新たなる挑戦とスタートこの神戸^{まち}とともに」

プログラム

1. リヒャルト・シュトラウス／13管楽器のためのセレナード 変ホ長調 作品7
2. カール・ライネッケ／フルート協奏曲 ニ長調 作品283
フルート独奏: 高木 綾子
3. ルードヴィヒ・ファン・ベートーベン／交響曲第3番 変ホ長調「英雄」作品55
指揮: 朝比奈千足

入場者数: 477人

助成

芸術文化振興基金助成金 (独立行政法人 日本芸術文化振興会)

芸術文化公演再開緊急支援事業 (兵庫県・神戸市・公益財団法人
兵庫県芸術文化協会)

②第81回定期演奏会 [令和3年度に延期]

2. ニューイヤーコンサート

2021年1月11日(火・祝) 14:30開演、神戸文化ホール 大ホール

「神戸フィルのファミリーニューイヤーコンサート2021」

プログラム

第1部 おもしろオーケストラ!

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| G. ビゼー | 歌劇「カルメン」作品より前奏曲 |
| E. エルガー | 「愛の挨拶」作品12 |
| P. チャイコフスキー | 交響曲第6番「悲愴」ロ短調 作品74 1楽章より |
| P. チャイコフスキー | バレエ組曲「白鳥の湖」作品20a より「4羽の白鳥」 |
| C. サン-サーンス | 組曲「動物の謝肉祭」より「亀」 |
| L. アンダーソン | 「ワルツィング・キャット」 |
| J. オッフエンバック | オペレッタ『地獄のオルフェ (天国と地獄)』より「カンカン」 |

第2部 ウィーンの名曲たち

- | | |
|----------|-----------------|
| J. ブラームス | 「ハンガリー舞曲」第5番ト短調 |
|----------|-----------------|

- J. シュトラウス, II ポルカ・マズルカ「都会と田舎」 作品 322
J. シュトラウス, II ワルツ「皇帝円舞曲」 作品 437
J. シュトラウス, II 「無窮動」 作品 257
J. シュトラウス, II ポルカ・シュネル「雷鳴と電光」
J. シュトラウス, II ワルツ「美しく青きドナウ」 作品 314
指揮: 朝比奈千足

入場者数: 295人

3. 受託演奏

①学校法人フタバ幼稚園 (姫路市)

2020年8月17日(月)

神戸フィルハーモニック団員6名にて演奏

④「関西音楽教室講師会主催 ピアノ発表会」

2021年1月6日(金)、フェニーチェ堺 小ホール

出演者 神戸フィルハーモニック 13名、指揮: 朝比奈千足

II. 法人の現状

1. 個人会員 松本 俊行、富樫 芳彦、藤本 慎司
団体会員 三宝電機株式会社、富永貿易株式会社

2. 理事 藤本 慎司 (代表理事)
松本 俊行 (業務執行理事)
富樫 芳彦 (楽団長)
本間 充
福井 和郎
監事 浅野 忠 (神戸フィルハーモニック)

3. 楽団 (神戸フィルハーモニック)

(1) 団員数 82名 (内休団中18名)

(2) 音楽監督(3年契約) 兼 常任指揮者(単年度契約) 朝比奈千足

(3) 特別契約奏者 (コーチ)

柴嶋 道広 (コンサートマスター、フリー演奏家)

奥野 敬子 (第2ヴァイオリン首席、武庫川女子大学講師、
元神戸市室内合奏団員)

田中 次郎 (チェロ首席、神戸市室内管弦楽団員)

南出 信一 (コントラバス首席、神戸女学院大学講師)

III. 財務状況

財務状況の概要

本年度は、予定していた3回の自主公演がコロナ禍のために2回の開催となるとともに、これら2回の自主公演の入場者が予想を大幅に下回ったために、入場料収入が計画より少なくなっている。支出については、2回の自主公演とも通常の支出が必要であり、さらに延期に伴う経費、新型コロナウイルス感染対策のための経費も必要となっている。したがって、事業収支として170万円ほどの赤字を生じた。この補填のため、神戸フィルハーモニック楽団員の積立金より寄附を受け、充当した。

一方、文化庁所管の芸術文化振興基金助成金(独立行政法人 日本芸術文化振興会)の交付を受けている。また、「つなぐ KOBE アート募金」による収入があった。